

申6号

## 変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションの 実施に関する要求申し入れ（その2）

### 1回目団体交渉を行う！

#### 1項

(組合)・安全・サービスレベルの向上が蔑ろになってはならない。

- ・ジョブローテーションによって要員が逼迫しているから異動させられるという誤解を生まないよう運用すること。
- ・本人の希望や考え方をしっかり受け止めることを前提として進めること。

(会社)・安全・サービスレベルの向上が大前提であることは間違いない。

- ・希望が通らないときはそういう受け止め方をされるかもしれない。そこはしっかり管理者からフォローをしていく必要性はある。

#### 2項

(組合)・新幹線乗務員の今後の運用について考えを示すこと。

- ・住んでいる所が仙台であって、例えば二運に勤務している場合、キャリアステップで異動をはかるときに仙台に行くことはあるのか。
- ・今後、新幹線へ戻ることを希望する場合は公募制とするのか。

(会社)・新幹線の乗務員に戻るケースもあると考えている。

- ・有るか無いかと言えば有る可能性もある。在来線から在来線への区所間異動もあるし、新幹線から新幹線への道も当然ある。
- ・現行では公募制かどうかということははっきり申し上げることはできない。

#### 3項

(組合)・車掌未経験で運転士登用した場合の年数は我々の要求の方が早く車掌も経験できる。

- ・駅が2年に拘るといっているのであれば2年必要だといはっきりしたものを示すこと。
- ・駅1年、車掌1年でその中でも社会人、鉄道人の知識は十分に養うことはできる。さらに安全も担保できる。

(会社)・駅で学べることをしっかり2年間の中で学んでいただきたいという思いがある。

- ・駅の中で社会人としての知識と鉄道人としての知識を学んでいただきたいということ。
- ・今回提案させていただいた内容で妥当であるという認識である。

**対立！！**

#### 4項

(組合)・従事期間を最低1年とするこの要求は苦渋な判断だ。しっかりと安全を担保していく、そこは外してはいけない。

(会社)・順番になるという道を維持したままであれば、車掌の仕事がないのにどんどん車掌が膨らんでいく、またそこから運転士になっていくという道だけだと中々将来の環境の変化に対応できない。しっかりと適性検査を持っているのはもちろん、研修や見習いも行うので、その中できちんと車掌や運転士の業務を理解できるということを今までどおり行っていくので決して安全がおろそかになるとは思っていない。

**継続議論！**